

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 広島常光福祉会	代表者	柿木田 健	法人・ 事業所 の特徴	法人は「人と人とのふれあいを大切にいきいきと暮らしたいあなたを全面的にサポート」を理念としており、介護サービス事業所を複数運営している。総合ケアげんきは法人の事業所の中の1つであり、同一敷地内にグループホームと保育園を併設し、広い園庭がある。小規模多機能の特性を活かし、利用者のニーズに柔軟に対応するよう努めている。
事業所名	総合ケアげんき	管理者	松永 幸枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	10人	2人	人	1人	人	3人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	感染症予防を行いながら地域活動への参加を積極的に実施していく。	感染対策の観点から少人数制で運営推進会議を行い年度後半より10名前後地域住民の方が集まり開催を行っている。	集まって話をする事で様々な意見が聞けて助かっている、以前のように人数を増やして開催出来ればとの思いもある。	地域活動への参加を実施し、地域の方も積極的に参加できるように意見を伺い開催を実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症予防は今後も必須対策として日々の清掃や消毒、換気を日常的に実施していく。	感染予防を行い面会時間15分程にて制限を設け受け入れを実施している。徐々に面会時間調整し対応している。日々の清掃・換気は実施している。	コロナが5類になったとは言え感染が治まった訳ではないのから感染対策をしっかりされていると思う。	感染予防のため、清掃・換気、消毒は引き続き行い、外部の方が来られた際、清潔感のある環境作りを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所単体の地域活動への参加を含み法人としての活動の一環として今後も地域活動への参加協力を実施していく。	地域清掃などの参加を行い、地域の方とのコミュニケーションを図っている。認知症アドバイザーとしての参加を実施している。	職員の皆さんと話をする機会は少ないですが顔を合わせれば挨拶をさせて頂いています。	地域清掃の参加を行い、感染対策を行った上で、地域で行われる行事にも積極的に参加する。地域の方と会った時は率先して挨拶を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所側から積極的に地域住民へ情報収集を行っていき、利用者が地域の一員として過ごせるように一緒に支援していく。	地域での生活をサポートするために地域住民・民生委員・包括などと関わりを持ち生活を維持できるよう支援を行っている。	よく動かれていると思う。独居の方の生活環境やサイクルなどを十分に把握するのは難しいことだと思う	利用者が生活する地域活動の把握を行い、家族や地域の方から情報提供をもらい住み慣れた地域での生活が送れるよう支援していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ過以前のように定期開催し事業所が地域に向けた発信が行えるよう企画していく。事業所の活動内容が地域住民にわかりやすく伝わるようにしていく。	2ヵ月に1回感染対策を設け地域住民の方に向けた情報発信を行っている。地域の方の要望を伺いながら情報を伝えていく。	コロナが5類になりやっとういっただけに参加する事ができて嬉しく思う。	定期開催を行う際、地域の方の要望、意見を聞き勉強会の企画を行い分かりやすく情報の発信を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	住民参加型の訓練を計画し実施していける様準備していく。近年自然災害が多く発生しており不測の事態発生時には対処できる準備をしておく。	火災訓練は地域住民参加型で訓練の実施が行えているが自然災害については口頭での説明になっているため、災害についても参加型の訓練も計画していく。	消防訓練を通じていざという時にどう動けばいいのか、改めて考えさせられるため助かっている。	自然災害についても掘り下げた地域住民参加型の訓練の計画を企画する。防災訓練についても継続てきに実施していく。

